

- P2 人間・脳ドック受診費用を7割助成
- P3 あなたは大丈夫?!年金記録
- P4-5 出品茶支援隊を募集
- P8 携帯電話でバス情報を検索

発行/京田辺市
〒610-0393京都府京田辺市田辺80
☎(0774)63-1122 FAX(0774)63-4781
HP <http://www.kyotanabe.jp/>

京たなべ



京田辺市は、公式ツイッターを運用しています
<http://twitter.com/citykyotanabePR>



①観音寺で安全祈願の後、竹に願いをしたためる住職
②参加者の手で無事に奈良・東大寺へ到着

普賢寺から東大寺二月堂へ 願い込めた竹送る



真竹の中には1本70kgを超えるものも

2月11日、普賢寺から奈良・東大寺へ真竹を送り届ける伝統行事「竹送り」が行われました。関西に春の訪れを告げる東大寺二月堂のお水取りで、勇壮に火の粉を散らす籠松明(かごたいまつ)には、京田辺産の竹も使われています。かつては奈良へ向かう旅人たちが、街道をリレー形式で運んだという竹送り。戦後途絶えていた風習を、市民で組織する「山城松明講社」が昭和53年に復活させ、今に伝えています。

この日、石井市長をはじめ約200人が参加。早朝から普賢寺の竹林で、太くまっすぐな真竹を選んで掘り起こしました。その後、震災からの復興や世界平和など、参加者の願いが観音寺住職の手により8本の竹にしたためられ、二月堂へ寄進されました。

初めて参加したという倉橋みどりさん(47)は、「肩に担いだ竹はひんやりしていて、ずっしりと重かったです。伝統行事の重みを体で感じる事ができました」と話してくれました。

- 命を守る7つのポイント**
- ◆寝たばこは、絶対やめる
 - ◆ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使う
 - ◆ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
 - ◆逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
 - ◆寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使う
 - ◆火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
 - ◆お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

春の火災予防運動

3月1～7日

消防本部は、3月1日(金)～7日(木)に春の火災予防運動を行います。3月になると寒さのピークを過ぎ、火の取り扱いに対する注意力が緩みがちです。また、この時期は風の強い日が多く、火災が広がりやすいため危険です。

左の7つのポイントを守り、一人ひとりが防火の意識を高めましょう。

問合せ先 消防本部予防課 (☎63・7826)

3・11 防災情報の受信確認を テストメールを配信

市は、防災情報メールに登録されたアドレスへの配信を確認するため、テストメールを送信します。

配信日時 3月11日 月午後2時46分

テストメールは、東日本大震災の記憶を風化させないため、震災から2年となる日の発生時刻に合わせて送信します。メールアドレスを登録している人は、テストメールが届くことを1307)

災害時は助け合い 協力事業所を募集

市は、大きな災害が発生したときに、食料・飲料水・資材・空きスペースなどの提供に協力いただける市内事業所の登録を受け付けています。

過去の大規模災害では、行政の支援態勢が整うまでに数日かかっています。それまでの間は、地域で互いに助け合う「共助」が大きな力になります。

万一の災害に備えて地域の防災力を高めるため、登録に協力をお願いします。

対象 市内に店舗・事務所・工場などを持つ事業所

協力内容 食料・飲料水・資材・人手など、原則として無償で提供できる内容を選んでいただきます。

詳しくは、お問い合わせください。

登録・問合せ先 安心まちづくり室 (☎64・1307)

防災情報メールとは

みなさんが登録したメールアドレスに、地震や気象警報などの防災情報を迅速に配信するサービスです。まだ登録していない人は、早めに登録してください。

登録方法 = 専用ホームページ (<http://panasender.jyouhou-station.jp/Kyota-Main/>) にアクセスし、画面の案内に従って登録してください



携帯電話・スマートフォン用QRコード